

# 古代史シンポジウム

～ 古代津軽の様相を探る～

日時

平成30年 9月29日(土)  
午後1時00分～5時40分

場所

ヒロロ4階 市民文化交流館ホール  
(弘前市駅前町9-20)

入場料

無 料(事前申込不要)



一ノ下り山遺跡 出土 土器(統縄文時代)

古代、北東北は中央集権国家の支配の及ばない地域であり、その住民は「蝦夷」と呼ばれていました。その実態は、長らく謎に包まれていましたが、近年の発掘調査の成果ではこの時期の人々の様相が見えつつあります。弘前市内でも、平成10年以降、平安時代を中心とした発掘調査事例が増加しており、貴重な成果があげられています。

このことから、近年の調査成果から見た古代の津軽の様相を紹介し、ひいては文化財保護への理解を深める機会として、「古代史シンポジウム」を開催します。



笹森館 出土 石製丸鞘(平安時代)



史跡津軽氏城跡堀越城跡 出土 土器(飛鳥時代)

**報告** 津軽における古代遺跡の概要  
—弘前市域を中心に—  
弘前市教育委員会文化財課 東海林 心

**講演** 古代津軽地域における集落遺跡の諸相  
青山学院大学文学部 岩井 浩人 准教授

「北方世界」から見た古代津軽  
中泊町博物館 齋藤 淳 館長

文献史料からみた古代津軽  
弘前大学人文社会科学部 武井 紀子 准教授

古代の津軽地方に蝦夷はいたか?  
東海大学文学部 松本 建速 教授

**パネルディスカッション**  
古代津軽の様相を探る

**コーディネーター** 工藤 清泰 (元青森県考古学会会長)



堤田遺跡 出土 墨書土器(平安時代)



中野遺跡(未登録) 出土 土器(奈良時代)



堂ヶ平経塚 出土 珠洲産経容器(平安時代末)  
小川忠博氏撮影

主催：弘前市教育委員会

後援：青山学院大学文学部史学科、中泊町教育委員会、弘前大学人文社会科学部、東海大学文学部

お問い合わせ先

弘前市教育委員会文化財課  
青森県弘前市大学賀田一丁目1-1 ☎ 0172-82-1642(平日午前8時30分～午後5時)



笹森館 出土 土師器小壺 馬の刻書(平安時代)

## プログラム

- 13:00 開会挨拶 弘前市長 櫻田 宏
- 13:05 報 告 弘前市教育委員会文化財課 東海林 心  
津軽における古代遺跡の概要  
—弘前市域を中心に—
- 13:45 講 演 青山学院大学文学部准教授 岩井 浩人氏  
古代津軽地域における集落遺跡の諸相
- 14:25 休 憩
- 14:35 講 演 中泊町博物館館長 齋藤 淳氏  
「北方世界」から見た古代津軽
- 15:15 講 演 弘前大学人文社会科学部准教授 武井 紀子氏  
文献史料からみた古代津軽
- 15:55 休 憩
- 16:05 講 演 東海大学文学部教授 松本 建速氏  
古代の津軽地方に蝦夷はいたか?
- 16:45 休 憩
- 16:50 パネルディスカッション  
古代津軽の様相を探る  
コーディネーター 工藤 清泰氏
- 17:40 閉会挨拶 弘前市教育委員会教育長 吉田 健

## 出演者紹介

【報 告】 弘前市教育委員会文化財課主事 東海林 心

【講 演】

青山学院大学文学部准教授 岩井 浩人氏

○青山学院大学大学院博士後期課程満期退学 博士(歴史学)

○主な専門分野・研究

主「古代北東北の考古学的研究(土器論と集落論を中心に)」

副「ロシア沿海地方における渤海時代遺跡の調査」

○主な編著作・論文等

岩井浩人 2009「津軽南域における古代の土器様相」『扶桑・田村晃一先生喜寿記念論集』

岩井浩人 2011「第二章 第三節 古代」『新編弘前市史 通史編 岩木地区』弘前市編

岩井浩人 2018「古代末期環濠集落の成立過程 - 津軽地域の遺跡動態・集落構造変遷分析」『古代文化』第70巻 第1号

中泊町博物館長 齋藤 淳氏

○明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業

○主な専門分野・研究 北奥の歴史考古学

○主な編著作・論文等

齋藤淳 2016「北奥「蝦夷」集落の動態」『考古学ジャーナル』688号

齋藤淳 2016「土器からみた地域間交流 - 秋田・津軽・北海道 -」『北方世界と秋田城』六一書房

齋藤淳 2017「古代北奥における集落・竪穴建物の動態について」『古代国家と北方世界』同成社

弘前大学人文社会科学部准教授 武井 紀子氏

○東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程修了 博士(文学)

○主な専門分野・研究

日本古代史・日本古代地方社会の研究、日本古代律令財政史の研究、出土文字資料研究

○主な編著作・論文等

武井紀子 2014「律令財政と貢納制」『岩波講座日本歴史』第3巻古代3 岩波書店

武井紀子 2017「東アジアの中の日本文字資料 - 人・物の管理方法を中心として -」『古代文字と隣接諸学4 古代の文字文化』犬飼隆編 竹林舎

武井紀子 2017「北奥地域における出土文字資料と蝦夷 - 青森県域の文字資料を中心として -」『古代国家と北方世界』小口雅史編 同成社

東海大学文学部教授 松本 建速氏

○筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得退学 博士(文学)

○主な専門分野・研究 日本列島北部域の人々についての考古学

○主な編著作・論文等

松本建速 2006『蝦夷の考古学』同成社

松本建速 2011『蝦夷とは誰か』同成社

松本建速 2013「本州東北部にアイヌ語系地名を残したのは誰か」『考古学研究』60巻1号

【パネルディスカッションコーディネーター】

元青森県考古学会会長 工藤 清泰氏

○弘前大学教育学部卒業

○主な専門分野・研究 北日本の古代・中世考古学

○主な編著作・論文等

工藤清泰 1997「考古学研究における境界性 - 古代・中世への視点から -」『青森県史』第1号 青森県

工藤清泰 1999「『館』発生の考察」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第9集 帝京大学山梨文化財研究所

工藤清泰 1999「蝦夷人の往来 - 津軽海峡 -」『ものがたり日本列島に生きた人たち 10 景観』岩波書店